

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について

I 調査の概要

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査の対象

小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年、特別支援学校小学部第6学年
中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年、特別支援学校中学部第3学年

3 調査実施日

令和5年4月18日（火）

4 調査の内容

- (1) 教科に関する調査（小学校：国語・算数、中学校：国語・数学・英語）
 - ・中学校英語は3年に1度実施（前回の実施は平成31年度で、令和2年度は調査全体が中止）
- (2) 質問紙調査（生活習慣や学習環境等）
 - ・児童生徒に対する調査
 - ・学校に対する調査

5 調査を実施した本県公立学校数・児童生徒数

- (1) 学校数（義務教育学校、特別支援学校を含む）
 - ・小学校：202校
 - ・中学校：85校
- (2) 児童生徒数（義務教育学校、特別支援学校を含む）
 - ・小学校：8,937人
 - ・中学校：8,727人

II 調査の結果

1 教科に関する調査の結果

学 年	項 目	県・国	国 語	算 数 ・ 数 学	英 語
小学校 第6学年	問題数		14	16	/
	平均正答率 (%)	本県	72	67	
		全国	67.2	62.5	
中学校 第3学年	問題数		15	15	17
	平均正答率 (%)	本県	73	56	49
		全国	69.8	51.0	45.6

※文部科学省は、平成29年度から県の平均正答率を整数値で公表している。

※文部科学省は、中学校英語について、4技能のうち「話すこと」を除く、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の合計を集計し公表している。

2 質問紙調査の結果《抜粋》

< 児童生徒質問紙 >

- (1)国語の授業の内容はよく分かりますか
- (2)算数・数学の授業の内容はよく分かりますか
- (3)英語の勉強は好きですか
- (4)将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか
- (5)授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか
- (6)家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含みます)
- (7)自分には、よいところがあると思いますか
- (8)先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか
- (9)前年度までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか

< 学校質問紙 >

- (10)前年度までに、児童生徒が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか
- (11)前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか
- (12)前年度までに、学校生活の中で、児童生徒一人一人のよい点や可能性を見付け評価する(褒めるなど)取組を行いましたか
- (13)令和4年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか

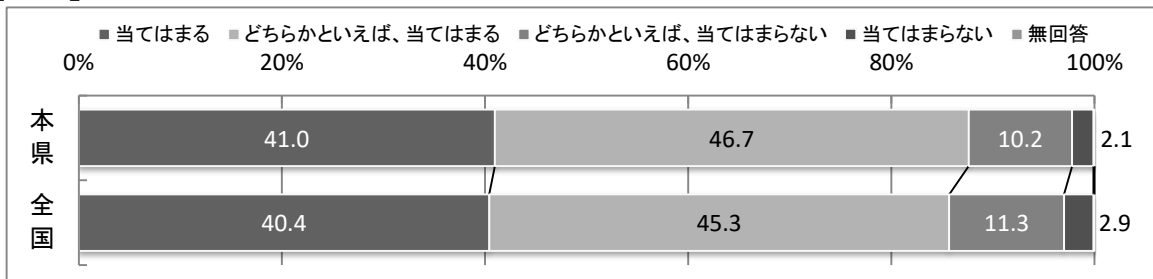
< 児童生徒質問紙 >

【学習に対する興味・関心や授業の理解度等】

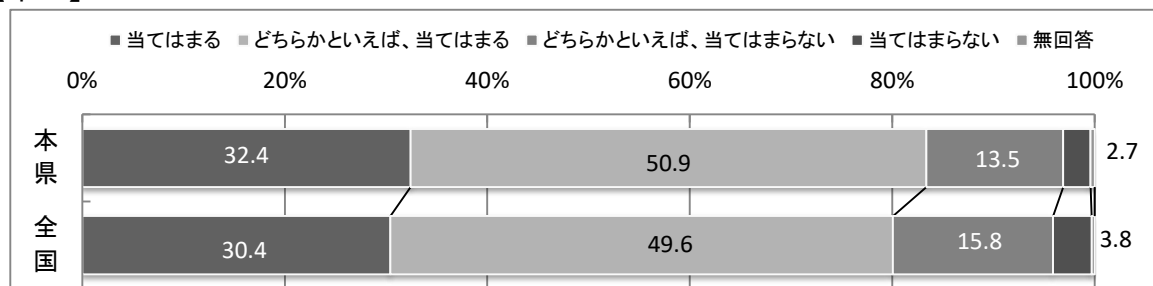
(1) 国語の授業の内容はよく分かりますか

肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小6は87.7%、中3は83.3%で、ともに全国よりやや高い。

【小6】



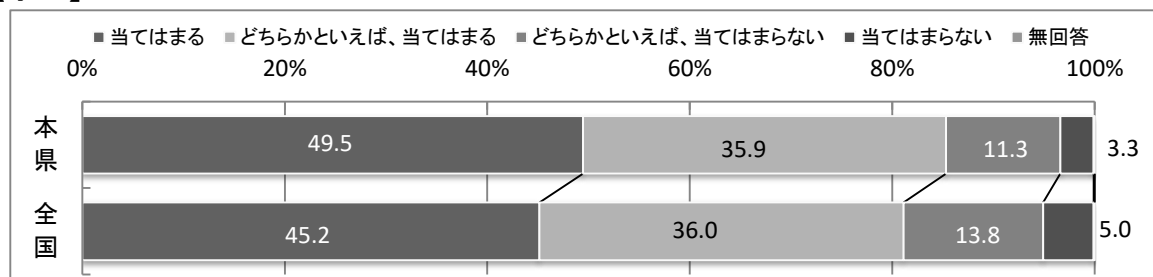
【中3】



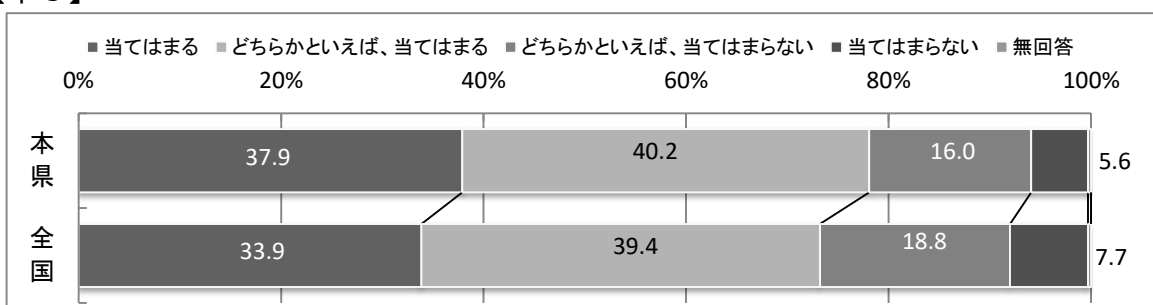
(2) 算数・数学の授業の内容はよく分かりますか

肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小6は85.4%、中3は78.1%で、ともに全国よりやや高い。

【小6】



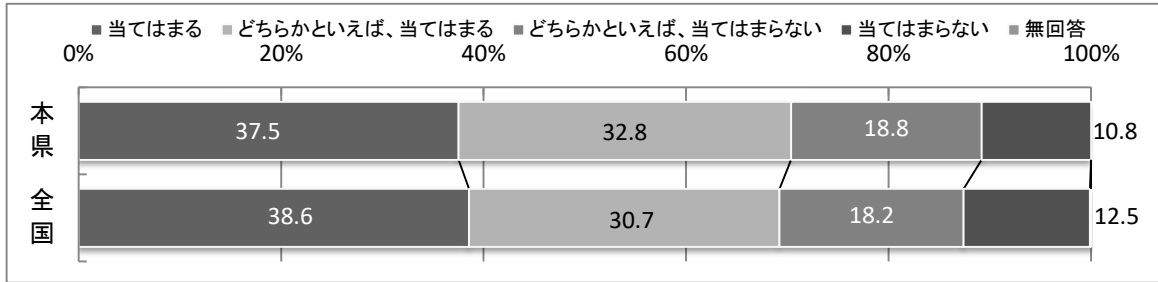
【中3】



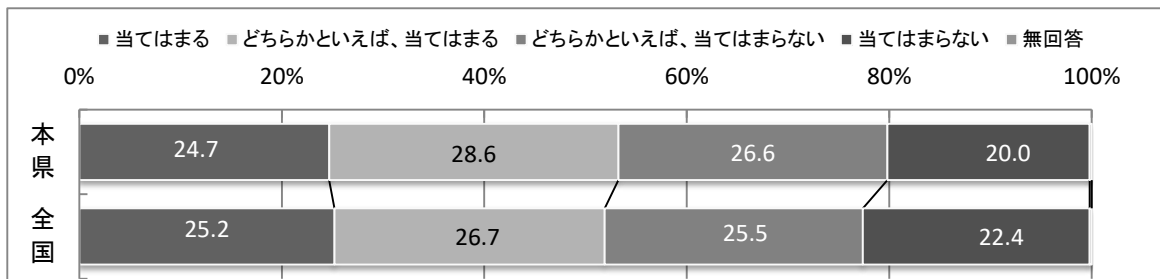
(3) 英語の勉強は好きですか

肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小6は70.3%、中3は53.3%で、ともに全国と同程度。

【小6】



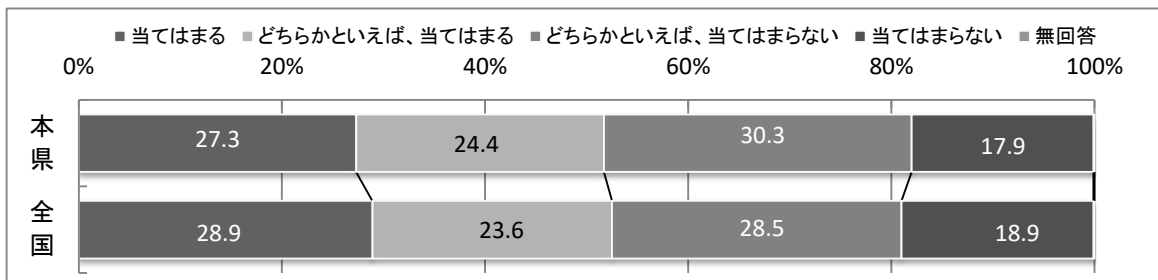
【中3】



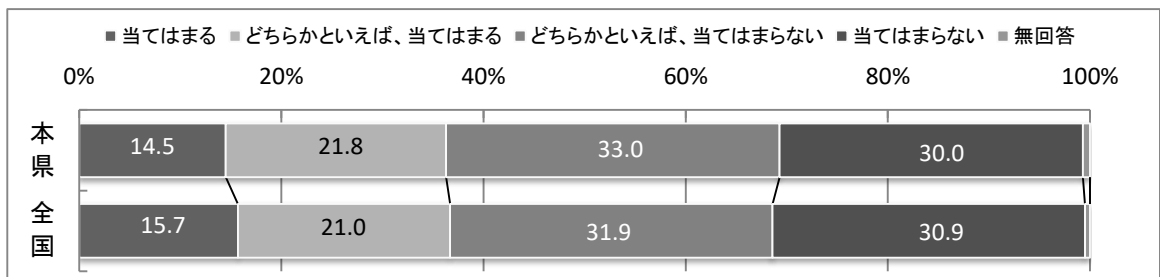
(4) 将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか

肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小6は51.7%、中3は36.3%で、ともに全国と同程度。

【小6】



【中3】

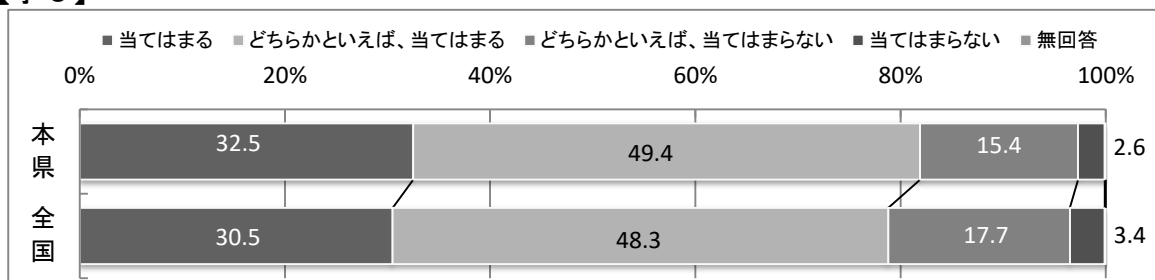


【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

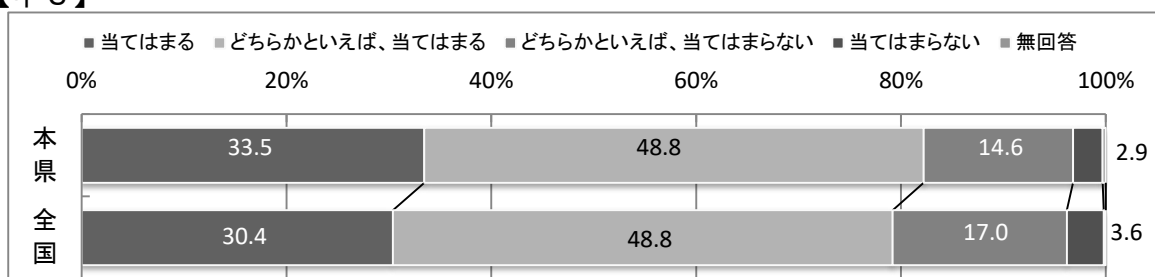
（５）授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか

肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小6は81.9%、中3は82.3%で、ともに全国よりやや高い。

【小6】



【中3】

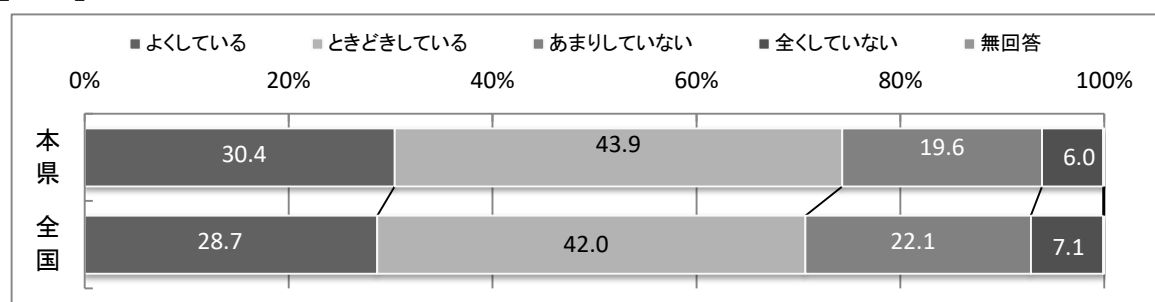


【学習習慣等】

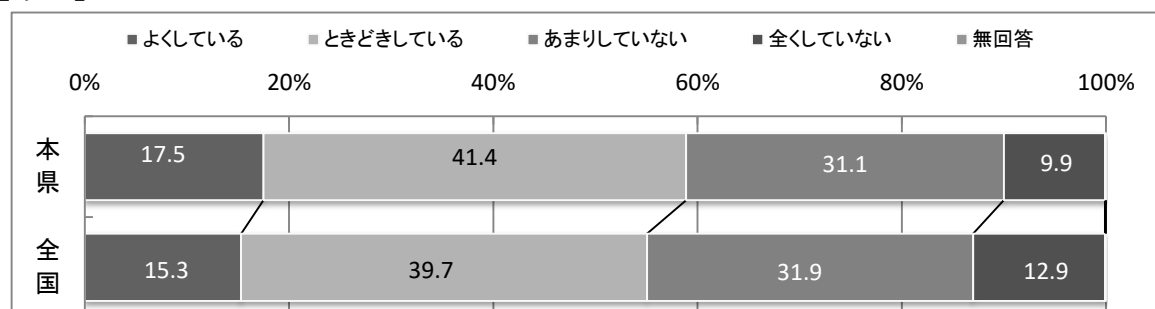
（６）家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含みます）

肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小6は74.3%、中3は58.9%で、ともに全国よりやや高い。

【小6】



【中3】

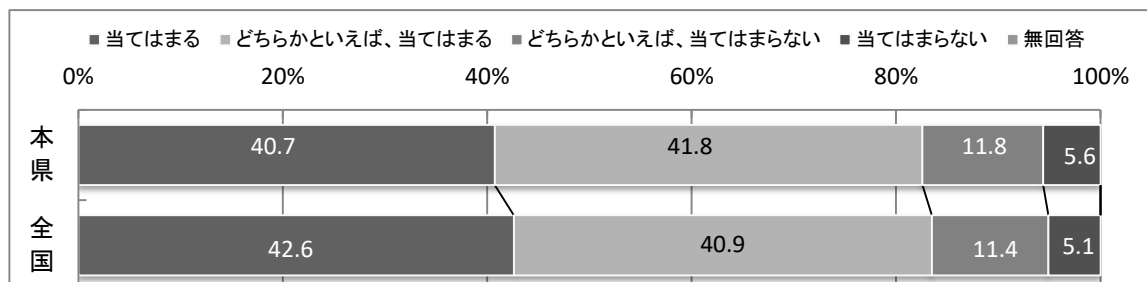


【自己有用感等】

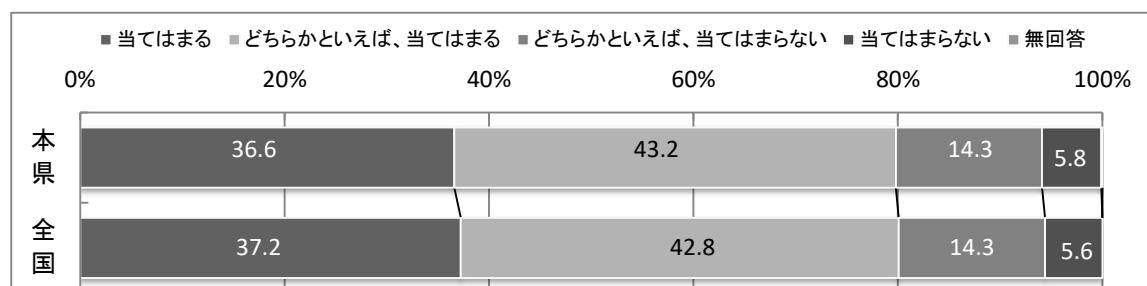
(7) 自分には、よいところがあると思いますか

肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小6は82.5%、中3は79.8%で、ともに全国と同程度。

【小6】



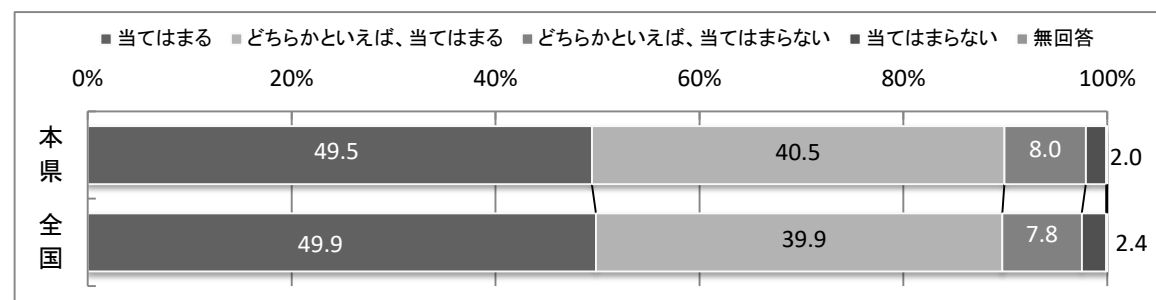
【中3】



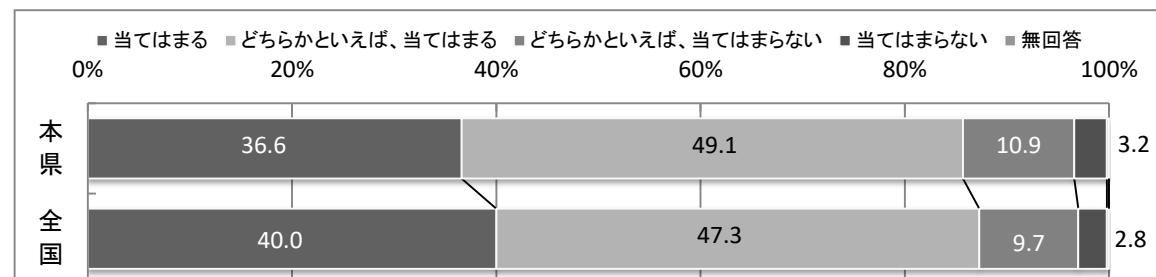
(8) 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか

肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小6は90.0%、中3は85.7%で、ともに全国と同程度。

【小6】



【中3】

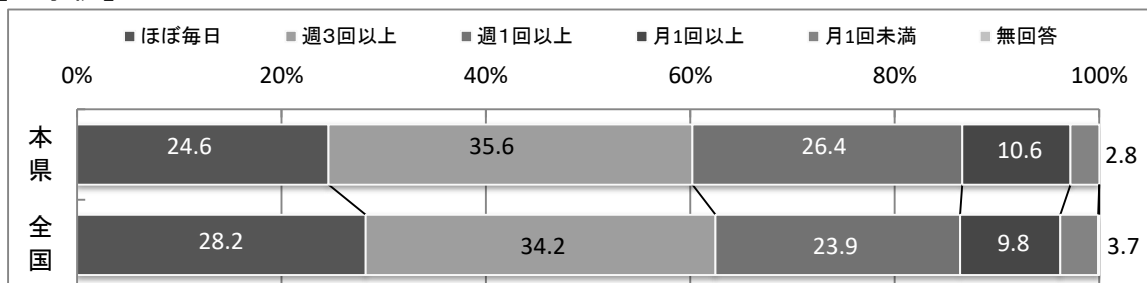


【ICTを活用した学習状況】

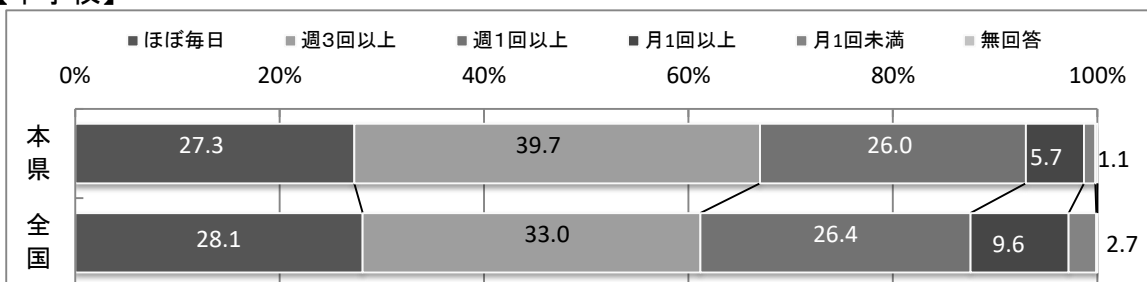
(9) 前年度までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか
 ※「週1回以上」と回答した割合

「週1回以上」と回答した児童生徒の割合は、小6は86.6%で全国と同程度であり、中3は93.0%で全国より高い。

【小学校】



【中学校】



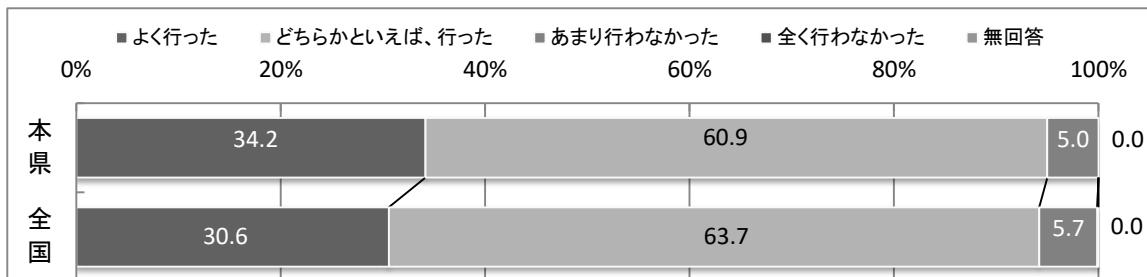
< 学校質問紙 >

【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

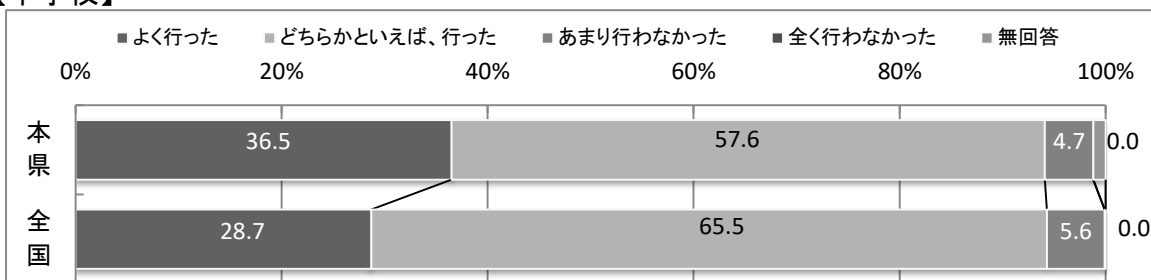
(10) 前年度までに、児童生徒が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか

肯定的な回答をした学校の割合は、小学校は95.1%、中学校は94.1%で、ともに全国と同程度。

【小学校】



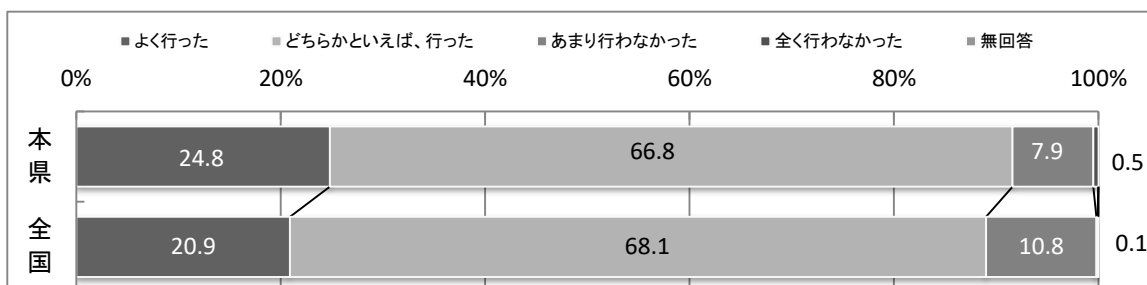
【中学校】



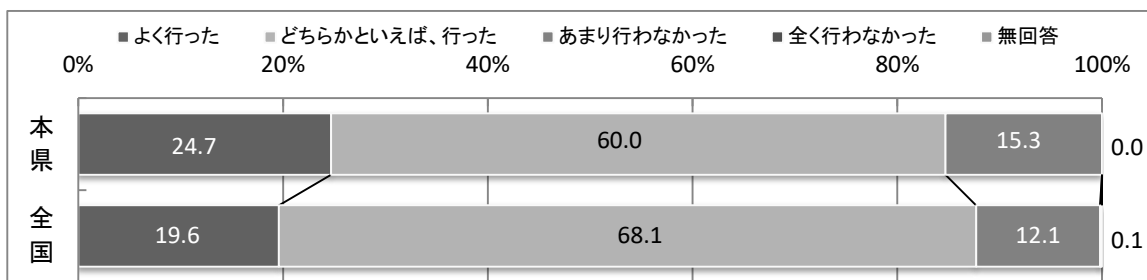
(11) 前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか

肯定的な回答をした学校の割合は、小学校は91.6%で全国よりやや高く、中学校は84.7%で全国よりやや低い。

【小学校】



【中学校】

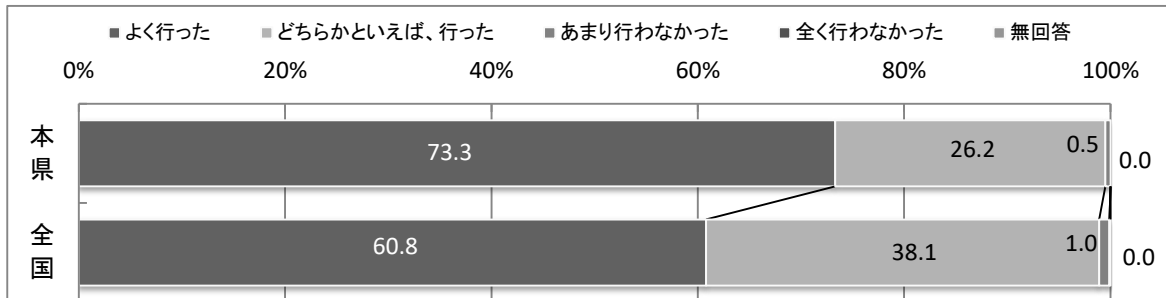


【生徒指導等】

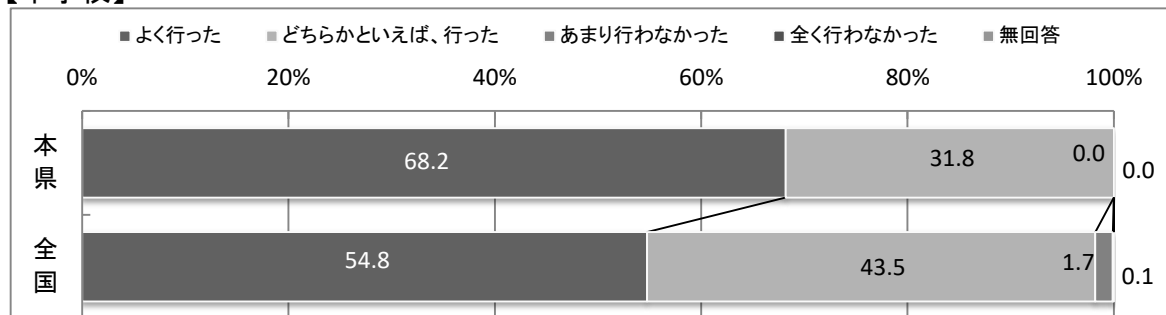
(12) 前年度までに、学校生活の中で、児童生徒一人一人のよい点や可能性を見付け評価する（褒めるなど）取組を行いましたか

肯定的な回答をした学校の割合は、小学校は99.5%、中学校は100.0%で、ともに全国と同程度。

【小学校】



【中学校】

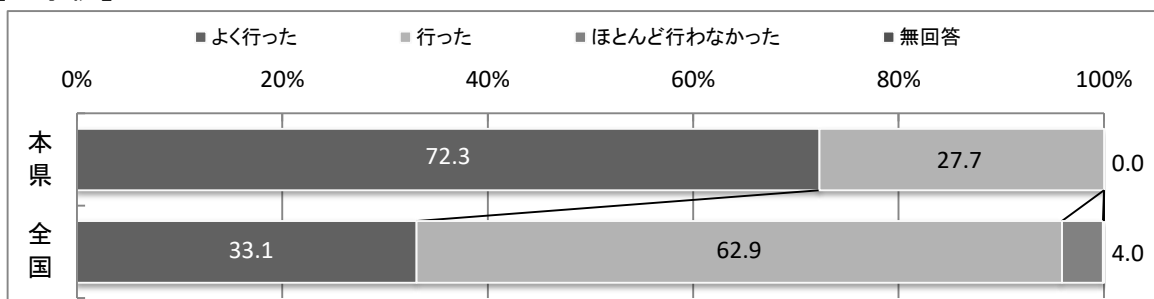


【調査結果の活用】

(13) 令和4年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか

肯定的な回答をした学校の割合は、小学校は100.0%で全国よりやや高く、中学校は100.0%で全国より高い。特に「よく行った」との積極的な回答の割合は、全国より小学校で39.2%、中学校で36.5%高い。

【小学校】



【中学校】

